

二〇二六年四月二五日（参加者七名）

春陰へ紙飛行機の消えにけり	よんた
滑走路掠め掠めて燕飛ぶ	よし女
のどけしや馬場に昼餉の家族連れ	わかば
霊岩の立て札傾ぐ青葉影	なつき
春日燦水掛地蔵の干る間なく	よし女
藤房の長さに風のおそびをあり	伸枝
先導は白馬の騎手や馬場うらら	わかば
寄れば濃し遠目に淡し藤の花	伸枝

月例会会みもの選・二〇二六年四月二六日